

I . 調査の概要

1 調査目的

この調査は、区政の課題について区民の意識や意向を統計的にとらえ、今後の区政運営の基礎資料とするものである。

2 調査テーマ・内容

- (1) 区の施策および評価について
 - ・居住性の評価や定住意向
 - ・区への愛着、誇り、魅力
 - ・区施策への満足度と必要性
 - ・区の施策への要望
 - ・区政情報の入手

- (2) 区職員の接遇等について
 - ・区への問合せ経験の有無
 - ・職員の応対に関する評価及び満足度
 - ・職員や事務室の印象

- (3) 区民参加と協働について
 - ・各分野の取組み主体
 - ・地域の中で頑張っていると思う団体
 - ・地域で活動を始める方法
 - ・団体を立ち上げる際もしくは参加する際の重要点
 - ・協働を進めるための区への要望

- (4) 「みどり」について
 - ・練馬区のみどりの量や種類についての要望
 - ・公共の樹木に関する維持管理
 - ・民有地のみどりの保全と維持管理
 - ・みどりの豊かなまちづくり
 - ・みどりに関する各制度

3 調査設計

- (1) 調査地域 …………… 練馬区内全域
- (2) 調査対象 …………… 練馬区在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 …………… 3,000サンプル
- (4) 対象者抽出方法 … 層化二段無作為抽出法
 - ①層化…………… 郵便番号に基づき、練馬区内を「5 地区区分（5 ページ）」に示すように4地区に区分し、それぞれを層とした。
 - ②標本数の配分…… 各層における20歳以上の人口数（平成28年8月1日現在）により、「6 地区区分別回収状況（6 ページ）」に示すように3,000の標本数を配分した。
 - ③地点抽出…………… 調査地点の抽出数は、1 調査地点の標本数が10になるように、各層に配分された標本数より算出し、決定した。
調査地点の決定については、層ごとに、

$$\frac{\text{層における人口数}}{\text{層で決定された調査地点数}} = \text{抽出間隔}$$
 を算出し、等間隔抽出法によって、対象者抽出のための各調査地点の起算番号を算出した。
 - ④対象者抽出…………… 練馬区住民基本台帳に基づき、各調査地点の起算番号目に出現する人を第1番目の抽出対象とし、以下各調査地点において一定の抽出間隔で10人に達するまで系統的に抽出し、計3,000サンプルを抽出した。
- (5) 調査方法 …………… 郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間 …………… 平成28年8月22日（月）～9月9（金）
- (7) 調査機関 …………… 株式会社 都市計画21

4 回収状況

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	601,469	3,000	1,247	41.6%

※平成28年8月1日現在

<参考>

平成27年度回収状況 ※調査設計は平成28年度と同じである。

	成人人口※	標本数	有効回収数	有効回収率
全 体	596,862	3,000	1,432	47.7%

※平成27年8月1日現在

5 地区区分



表1 地区区分一覧

区 分	町 名
I地区 〒176	練馬、桜台、羽沢一～二丁目、羽沢三丁目、小竹町、旭丘、栄町、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、貫井、向山、中村北、中村、中村南
II地区 〒177	三原台一丁目、三原台二丁目、三原台三丁目、谷原一丁目、谷原二～四丁目、谷原五丁目、谷原六丁目、高野台一・二丁目、高野台三～五丁目、富士見台、南田中一～三丁目、南田中四・五丁目、石神井町一～四丁目、石神井町五丁目、石神井町六～八丁目、下石神井、上石神井南町、上石神井、石神井台一・二丁目、石神井台三丁目、石神井台四・五丁目、石神井台六丁目、石神井台七・八丁目、関町北、関町東、関町南、立野町
III地区 〒178	大泉学園町、大泉町一～五丁目、大泉町六丁目、東大泉、南大泉、西大泉一丁目、西大泉二～六丁目、西大泉町
IV地区 〒179	旭町、光が丘、田柄、春日町一～四丁目、春日町五丁目、春日町六丁目、高松一～三丁目、高松四・五丁目、高松六丁目、土支田、北町、錦、平和台、氷川台、早宮

6 地区区分別回収状況

	成人人口	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	601,469	3,000	1,247	41.6%
I地区(〒176)	146,936	744	277	37.2%
II地区(〒177)	172,762	859	328	38.2%
III地区(〒178)	113,908	543	219	40.3%
IV地区(〒179)	167,863	854	323	37.8%
(地区無回答)	0	0	100	-

7 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは、その質問への回答者総数のことである。
- (2) 回答は、回答者総数を100%として算出し、小数点第2位を四捨五入している。
このため、回答率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、回答率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) フェイスシート（一部質問）として、次の11項目をとりあげた。巻末集計表には、このうち9項目とのクロス集計結果を掲載してある。

①地区別	②性別	③年齢別	④性・年代別
⑤職業別	⑥ライフステージ別	⑦家族構成別	⑧家族人数別
⑨住居形態別	⑩住居所有形態別	⑪通勤・通学場所別	
- (5) 図表中、スペースの都合上、回答選択肢を短縮している場合がある。
- (6) フェイスシートの項目別や質問項目別に分析する場合、分析の都合に応じて、複数のカテゴリー（回答選択肢）を1つにまとめたり、あるカテゴリーを削除するなどの加工をしている場合がある。1つにまとめた場合に、それぞれの比率の合計と合わせた比率が異なる場合があるが、これは四捨五入による差異である。
- (7) 各設問の説明では、基数（n）が30に満たない項目は除いて比較している。
- (8) 巻末集計表では、属性部分から無回答を除いているため、該当者の合計が総数とならない場合がある。

8 標本誤差について

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあるが、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、誤差を数学的に計算することが可能である。

今回の調査の回答結果から、母集団（練馬区在住の満20歳以上の男女）全体の比率を推定するため、層化二段無作為抽出法の場合の標本誤差の〈算出式〉と〈早見表〉を示した。

標本誤差および〈標本誤差早見表〉は、以下のように使用する。

例えば、問2の「あなたは、練馬区の住みごちをどう思いますか」という質問に対して、「まあ住みよい」と答えた人は1,247人のうち54.9%であった。回答者数が1,247人、回答率が50%前後のときの標本誤差は、〈標本誤差早見表〉では±4.00%であるから、「まあ住みよい」と考えている人は、練馬区在住の満20歳以上の男女全体（母集団）の50.90%から58.90%の間にあると推定できる。ただし信頼度は95%であるので、この推定は95%の確率で正しいといえることになる。

<標本誤差算出式> (信頼度 : 95%)

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差 N = 母 集 団 (練馬区全体)
n = 回答者数 P = 回答の比率 (0 ≤ P ≤ 1)

<標本誤差早見表> (信頼度 : 95%)

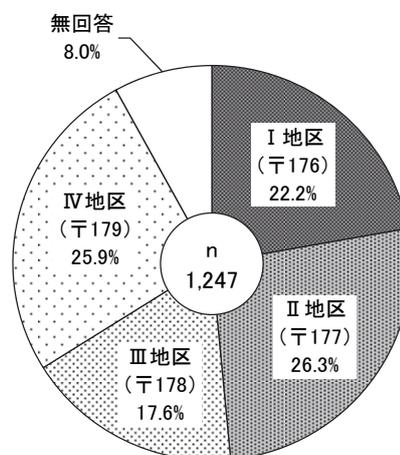
回答比率(P) 回答者数(n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,247	± 2.40	± 3.20	± 3.67	± 3.92	± 4.00
1,200	± 2.45	± 3.27	± 3.74	± 4.00	± 4.08
900	± 2.83	± 3.77	± 4.32	± 4.62	± 4.71
600	± 3.46	± 4.62	± 5.29	± 5.66	± 5.77
300	± 4.90	± 6.53	± 7.48	± 8.00	± 8.16
100	± 8.48	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

(注) Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。

9 回答者の属性

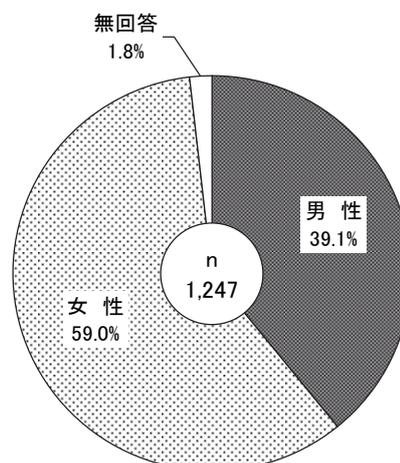
[地区別]

	基 数	構成比
1 I地区 (〒176)	277	22.2%
2 II地区 (〒177)	328	26.3%
3 III地区 (〒178)	219	17.6%
4 IV地区 (〒179)	323	25.9%
無回答	100	8.0%
合 計	1,247	100.0



[性 別]

	基 数	構成比
1 男性	488	39.1
2 女性	736	59.0
無回答	23	1.8
合 計	1,247	100.0

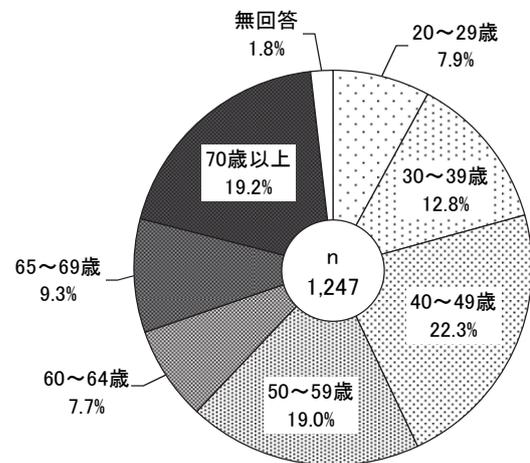


	n	男性	女性	無回答
全 体	1,247	39.1	59.0	1.8
I地区(〒176)	277	38.3	61.4	0.4
II地区(〒177)	328	41.8	57.6	0.6
III地区(〒178)	219	38.4	59.8	1.8
IV地区(〒179)	323	40.6	58.5	0.9
(地区無回答)	100	30.0	57.0	13.0

(%)

[年齢別]

	基 数	構成比
1 20～29歳	98	7.9%
2 30～39歳	160	12.8%
3 40～49歳	278	22.3%
4 50～59歳	237	19.0%
5 60～64歳	96	7.7%
6 65～69歳	116	9.3%
7 70歳以上	240	19.2%
無回答	22	1.8%
合 計	1,247	100.0



[性・年代別]

(%)

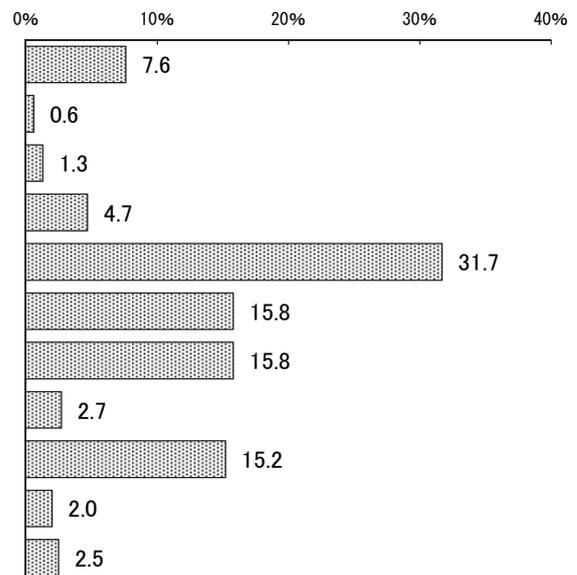
	n	男 性							女 性							(性別無回答)
		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(年齢無回答)	
全 体	1,247	2.7	4.3	8.6	8.0	7.2	8.3	0.1	5.1	8.6	13.7	11.0	9.8	10.7	0.1	1.8
I地区(〒176)	277	6.1	5.8	7.2	8.7	5.4	5.1	-	6.9	12.3	15.2	9.0	9.0	9.0	-	0.4
II地区(〒177)	328	1.8	4.0	8.8	8.2	7.9	11.0	-	4.6	7.6	11.3	13.7	8.8	11.6	-	0.6
III地区(〒178)	219	2.3	3.7	9.1	6.8	7.3	9.1	-	4.6	6.4	14.6	9.1	12.8	12.3	-	1.8
IV地区(〒179)	323	1.2	4.3	9.9	8.4	8.0	8.7	-	5.9	8.4	14.2	10.8	9.3	9.9	-	0.9
(地区無回答)	100	2.0	2.0	6.0	7.0	7.0	5.0	1.0	1.0	7.0	14.0	12.0	10.0	12.0	1.0	13.0

<参考>性・年代別の母集団との比較

		(%)							
		計	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	(無回答)
男 性	母集団	48.4	7.4	8.9	10.1	7.8	6.5	7.6	-
	調査結果	39.1	2.7	4.3	8.6	8.0	7.2	8.3	0.1
女 性	母集団	51.6	7.7	8.7	9.9	7.5	6.6	11.2	-
	調査結果	59.0	5.1	8.6	13.7	11.0	9.8	10.7	0.1
(性別無回答)		1.8	-	-	-	-	-	-	0.2

[職業別]

	基 数	構成比
1 自営業	95	7.6%
2 家族従業 (家事手伝い)	8	0.6%
3 自由業	16	1.3%
4 会社役員	59	4.7%
5 常勤の勤め人	395	31.7%
6 パート・臨時の勤め人	197	15.8%
7 専業主婦 (夫)	197	15.8%
8 学生	34	2.7%
9 無職	190	15.2%
10 その他	25	2.0%
無回答	31	2.5%
合 計	1,247	100.0

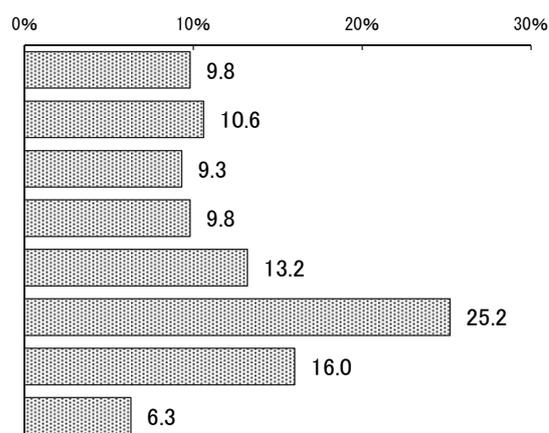


	n	自営業 (計)			勤め人 (計)			無職 (計)					無回答		
		自営業	家族従業 (家事手伝い)	自由業	会社役員	常勤の勤め人	パート・臨時の勤め人	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他				
全 体	1,247	9.5	7.6	0.6	1.3	52.2	4.7	31.7	15.8	35.8	15.8	2.7	15.2	2.0	2.5
I 地区 (〒176)	277	11.2	8.3	0.7	2.2	58.5	6.1	38.3	14.1	29.2	11.9	3.2	12.3	1.8	1.1
II 地区 (〒177)	328	9.5	7.6	-	1.8	47.0	4.0	29.6	13.4	42.7	19.5	3.4	17.7	2.1	0.9
III 地区 (〒178)	219	9.1	6.8	1.8	0.5	51.1	5.5	29.2	16.4	37.4	17.4	2.7	16.0	1.4	2.3
IV 地区 (〒179)	323	8.7	7.1	0.6	0.9	56.3	5.3	32.5	18.6	33.4	16.1	1.9	13.0	2.5	1.5
(地区無回答)	100	9.0	9.0	-	-	41.0	-	23.0	18.0	35.0	10.0	2.0	21.0	2.0	15.0

(注) 自営業 (計) は、自営業、家族従業 (家事手伝い)、自由業を合わせたもの
 勤め人 (計) は、会社役員、常勤の勤め人、パート・臨時の勤め人を合わせたもの
 無職 (計) は、専業主婦 (夫)、学生、無職、その他を合わせたもの

[ライフステージ別]

	基 数	構成比
1 独身期	122	9.8%
2 家族形成期	132	10.6%
3 家族成長前期	116	9.3%
4 家族成長後期	122	9.8%
5 家族成熟期	164	13.2%
6 高齢期	314	25.2%
7 その他	199	16.0%
無回答	78	6.3%
合 計	1,247	100.0



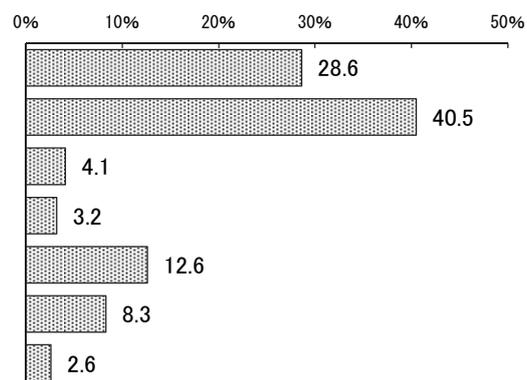
	n	独身期	家族形成期	家族成長前期	家族成長後期	家族成熟期	高齢期	その他	無回答	(%)
全 体	1,247	9.8	10.6	9.3	9.8	13.2	25.2	16.0	6.3	
I 地区(〒176)	277	18.4	13.7	7.2	8.3	8.3	17.7	22.0	4.3	
II 地区(〒177)	328	7.6	10.7	9.1	9.5	14.0	29.6	17.1	2.4	
III 地区(〒178)	219	6.4	9.6	11.4	8.2	11.9	29.7	15.1	7.8	
IV 地区(〒179)	323	8.7	10.2	10.2	11.1	18.0	24.1	12.7	5.0	
(地区無回答)	100	4.0	5.0	8.0	14.0	11.0	25.0	8.0	25.0	

(注) ライフステージは、次のような定義に基づいて区分した。

- 1 独身期…………… 40歳未満の独身者
- 2 家族形成期…………… 40歳未満の子どもがいない夫婦
または一番上の子どもが小学校入学前の人
- 3 家族成長前期…………… 一番上の子どもが小・中学生の人
- 4 家族成長後期…………… 一番上の子どもが高校・大学生の人
- 5 家族成熟期…………… 64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
- 6 高齢期…………… 65歳以上の人
- 7 その他…………… 40～64歳の独身者、40～64歳の子どもがいない夫婦など

[家族構成別]

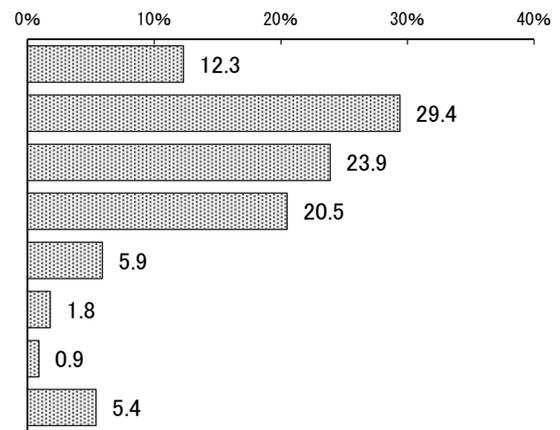
	基 数	構 成 比
1 夫婦のみ（一世代家族）	357	28.6%
2 親と未婚の子ども	505	40.5%
3 親と子ども夫婦（二世代家族）	51	4.1%
4 親と子どもと孫（三世代家族）	40	3.2%
5 ひとりぐらし	157	12.6%
6 その他	104	8.3%
無回答	33	2.6%
合 計	1,247	100.0



	n	夫婦のみ （一世代家族）	親と未婚の子ども	親と子ども夫婦 （二世代家族）	親と子どもと孫 （三世代家族）	ひとりぐらし	その他	無回答	(%)
全 体	1,247	28.6	40.5	4.1	3.2	12.6	8.3	2.6	
I 地区(〒176)	277	28.2	36.8	3.6	2.5	20.2	7.6	1.1	
II 地区(〒177)	328	30.8	40.5	3.0	3.0	10.1	11.6	0.9	
III 地区(〒178)	219	28.8	42.5	5.9	1.8	11.4	6.4	3.2	
IV 地区(〒179)	323	28.2	46.1	4.0	4.6	9.3	6.8	0.9	
(地区無回答)	100	24.0	28.0	5.0	4.0	13.0	9.0	17.0	

[家族人数別]

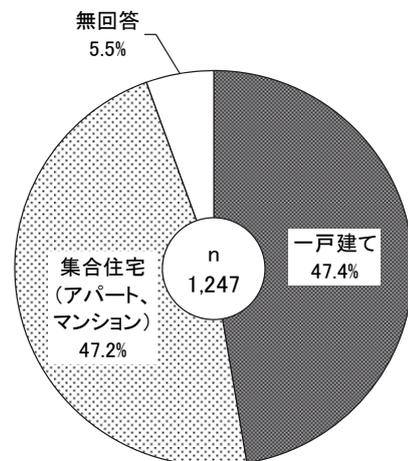
	基 数	構 成 比
1 ひとり暮らし	154	12.3%
2 2人	366	29.4%
3 3人	298	23.9%
4 4人	256	20.5%
5 5人	73	5.9%
6 6人	22	1.8%
7 7人以上	11	0.9%
無回答	67	5.4%
合 計	1,247	100.0



	n	ひとり暮らし	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上	無回答	(%)
全 体	1,247	12.3	29.4	23.9	20.5	5.9	1.8	0.9	5.4	
I地区(〒176)	277	20.2	30.0	22.4	17.7	5.8	2.2	1.1	0.7	
II地区(〒177)	328	10.4	32.9	28.4	21.3	4.9	0.9	0.6	0.6	
III地区(〒178)	219	11.9	30.6	24.7	20.5	8.7	2.7	0.5	0.5	
IV地区(〒179)	323	9.6	29.4	24.8	26.6	5.6	1.9	1.5	0.6	
(地区無回答)	100	7.0	13.0	9.0	6.0	4.0	1.0	0.0	60.0	

[住居形態別]

	基 数	構 成 比
1 一戸建て	591	47.4%
2 集合住宅(アパート、マンション)	588	47.2%
無回答	68	5.5%
合 計	1,247	100.0

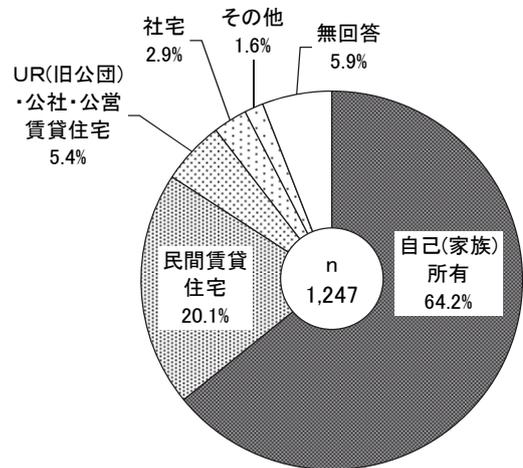


	n	一戸建て	集合住宅	無回答
全 体	1,247	47.4	47.2	5.5
I 地区(〒176)	277	40.1	59.2	0.7
II 地区(〒177)	328	50.0	49.4	0.6
III 地区(〒178)	219	68.0	31.1	0.9
IV 地区(〒179)	323	45.5	54.2	0.3
(地区無回答)	100	20.0	19.0	61.0

(%)

[住居所有形態別]

	基 数	構成比
1 自己(家族)所有	800	64.2%
2 民間賃貸住宅	251	20.1%
3 UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	67	5.4%
4 社宅	36	2.9%
5 その他	20	1.6%
無回答	73	5.9%
合 計	1,247	100.0

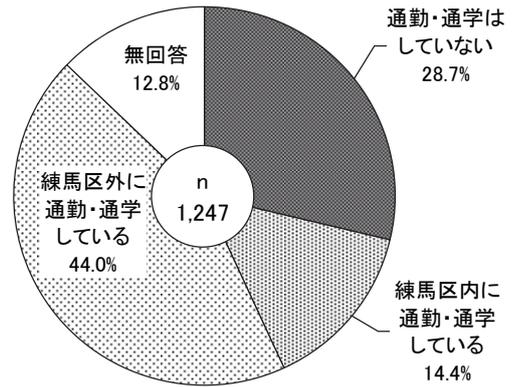


	n	自己(家族)所有	民間賃貸住宅	UR(旧公団)・公社・公営賃貸住宅	社宅	その他	無回答
全 体	1,247	64.2	20.1	5.4	2.9	1.6	5.9
I 地区(〒176)	277	67.1	25.6	1.8	2.2	1.8	1.4
II 地区(〒177)	328	68.0	20.4	4.6	5.5	0.9	0.6
III 地区(〒178)	219	75.3	19.6	1.8	1.4	0.9	0.9
IV 地区(〒179)	323	62.2	18.9	12.7	2.5	2.5	1.2
(地区無回答)	100	25.0	9.0	2.0	1.0	2.0	61.0

(%)

[通勤・通学場所別]

	基 数	構 成 比
1 通勤・通学はしていない	358	28.7%
2 練馬区内へ通勤・通学している	180	14.4%
3 練馬区外に通勤・通学している	549	44.0%
無回答	160	12.8%
合 計	1,247	100.0



	n	通勤・通学はしていない (%)	練馬区内へ通勤・通学している (%)	練馬区外に通勤・通学している (%)	無回答 (%)
全 体	1,247	28.7	14.4	44.0	12.8
I 地区(〒176)	277	26.7	10.1	56.0	7.2
II 地区(〒177)	328	35.7	11.3	46.3	6.7
III 地区(〒178)	219	31.5	20.5	37.4	10.5
IV 地区(〒179)	323	27.6	19.2	46.1	7.1
(地区無回答)	100	9.0	8.0	11.0	72.0

(%)